

科目	海岸工学 (Coastal Engineering)		
担当教員	辻本 剛三		
対象学年等	都市工学専攻・1年・後期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-2(50%) A-4-4(50%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	流体力学の基礎を用いて海岸で生じている物理現象を説明する。具体的には波動理論, 波の変形, 潮汐, 湾内振動, 波浪の統計解析, 海浜変形である		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-2】波動方程式を解析に解き, そこから得られる波の特性を計算できる		波動方程式を解析に解き, そこから得られる波の特性を計算できるかを中間試験・レポートで評価する
2	【A-4-2】波の変形が理論的に計算できる		波の変形が理論的に計算できるかを中間試験・レポートで評価する
3	【A-4-2】潮の干満を潮汐理論から計算できる		潮の干満を潮汐理論から計算できるかを中間試験・レポートで評価する
4	【A-4-2】津波により生じる湾内の振動特性が計算できる		津波により生じる湾内の振動特性が計算できるかを定期試験・レポートで評価する
5	【A-4-4】現地の波の特性が理論的に計算できる		現地の波の特性が理論的に計算できるかを定期試験・レポートで評価する
6	【A-4-4】海岸浸食の機構を理論的に計算できる		海岸浸食の機構を理論的に計算できるかを定期試験・レポートで評価する
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験80%, レポート20%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする		
テキスト	配布プリント		
参考書	海岸工学: 平山秀夫ら (コロナ社)		
関連科目	水理学, 数学, 応用数学		
履修上の注意事項	数学, 物理学, 水理学を十分理解しておくこと		

